

第 65 回 「黒山三滝」 忘年山行

第 1 支部 (株) 乾商会

理事 乾 洋介

平成 25 年 12 月 15 日 快晴

今年最後のハイキングは奥武蔵の黒山三滝から傘杉峠、顔振峠経由の吾野駅までのコースです。今回のメンバーは磯部、石井、若林、小川、秦、石倉、大井、前田、原夫人、山本、私乾の豪華な顔ぶれ11名です。

東武線越生駅に9時20分に集合し、駅前で集合写真。すぐにバスに乗り終点黒山に向かいました。バスは思いのほか混んでいて我々は誰も座れません。しかし途中のバス停でかなりの人が降りたため全員座れましたがすぐに終点に着きました。(後で分ったのですが「ゆずフェア」というイベントが開かれていました。農産物の即売会もあったようです)バスを降りたところで再び集合写真。この会は集合写真が大好きです。

ゆるい舗装道路を登っていくと15分ほどで黒山三滝に到着です。滝は二つしか見えませんが後の一つは何処にいったのでしょうか。そういえば手前に一つあったかな？

そんなことはどうでも良いのですが、ここからが山道になります。最初は緩い沢沿いの道でしたがだんだんと傾斜が増してきて苦しい登りになりました。小休止を挟んで小一時間で傘杉峠に着き、ここで又集合写真です。11人もいるので皆に声をかけないと集まりません。動物園のエサやりの時間みたいです。山道と舗装道路が混じるコースを行くとまもなく顔振峠に着きました。

茶屋も何軒かあるのですが食事もお酒も持参していますので道路の脇の日当たりの良い場所でお昼にしました。車が突っ込んでくると何名かはあの世行き場所ですが誰も気にしません。いつも通り磯部さんにお茶を沸かしていただきご馳走になりました。石井さん、若林さん、私の3名はお酒持参で皆様にも飲んでいただきました。

吾野駅までの道は緩やかな歩きやすい道で全員順調に歩き(途中 ドスンという音がしましたので振り向いたら小川さんが派手に転んでました)、コースタイムより早いぐらいのペースで無事に到着と相成りました。この日は快晴でしかも風も無く最高のハイキング日和でした。ここでハイキング編は終了し、飯能駅に移動して忘年会編へと続きます。

ここから忘年会編です。場所はいつもの飯能の〈次郎長寿司〉です。お店には既に原さんのご主人も着いており先にビールなんぞを飲んでいました。まず集合写真。コップにビールを注ぎ「さあ乾杯！」というタイミングで森山さんが到着しました。絶妙のタイミングに唾然としましたが忘年会は始まりました。この後すぐに大根田さんも到着し総勢14名の大宴会です。次郎長の刺身はいつも大きく切っており、マグロなんか口に入れたらしばらくしゃべれませ

ん。タコも20回位噛まないで喉につかえます。よせ鍋も大型洗面器くらいある大きな土鍋の中に具がどっさり入っていて、底のほうまで箸が到達しません。石倉さん差し入れの日本酒を飲んだり、お店の熱燗を飲んだり、手近にある液体を胃に流し込む、もうノンストップ状態です。お酒の飲めない大井さんはコーラにお刺身です。

毎回打ち上げの途中で今回のハイキングの原稿を誰が書くか決めるのですが、てっきり石倉さんが書くものと思いきや何と私が書く羽目になってしまいました(実は覚えていなく、翌日知りました)。そうです!不覚にも石倉さんにやられました。森山さんとの共謀説もあるようです。私のこのような駄文を読む「東塗だより」の読者が不憫に思います。次回は必ず石倉さんに名文を書いてもらおうと思います。

最後に出た握り鮓は食べられないので折に入れてもらって持ち帰りです。これがまた重くてズッシリ。原さんに頂いた柚子や、これも原さんに注文していただいたうどんをお土産にザックの中ははちきれそうです。楽しい時間を過ごし、無事に帰ったかどうか怪しい人もいましたが何とかあったようです。

一年間ハイキングに参加された皆様お疲れ様でした。今後も磯部さんと相談して良い(酔い?)計画を考えたいと思いますので皆様のご参加をお待ちしています。